



ちょっと素敵な話

No.16

利用者さんからの「心遣い」

利用者さんは、私たちのことをよく見ていらっしやいます。

少しでも気を抜いたり、手を抜いたりしていると、すべて見透かされています。

私たちの些細な変化も見逃されません。例えば髪型を少し変えたり、服装を変えたり、いつもと言葉のかけ方が違ったり…。

私は常に手を抜かず、気を張らないといけないわけです。しかし、不覚にも体調を崩して仕事を休んでしまった翌日、

「○○さん、大丈夫？」

「○○さん、どこが悪いの？」

「○○さん、すっかり休んだ？」

など、温かい言葉をたくさんいただきます。利用者さんに心配をかけてしまったことを反省する一方で、こっそり嬉しく思っています。

プロとして利用者さんに心配をしてもらうことは失格だとは思いますが、温かい人々に囲まれて仕事ができている私は、とても幸せだと思っています。